

「大手予備校もない離島から、早稲田大学に合格できた！」 オンライン予備校サービス『受験サプリ』が生み出した受験ドラマをサイト上に公開！

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：冨塚 優）が運営するオンライン予備校サービス『受験サプリ』（<http://jyukensapuri.jp/>）は、大学受験を終えた受験生たちから届いた受験ドラマをWEBサイト上に公開しました。

様々な制約条件を乗り越え、続々届く合格者たちの声

月額980円という低価格オンライン教育サービスで、教育の地域格差・所得格差の是正を目指す『受験サプリ』。そんな『受験サプリ』に2013年度の大学受験を終えた受験生たちから、自身の受験の体験記が続々と届いています。以下、その一部をご紹介します。



■『大学も大手予備校もない離島から、早稲田大学への挑戦』

（奄美大島出身／Sさん／早稲田大学 商学部・千葉大学 法政経学部 合格）

－僕は鹿児島県奄美大島出身です。島には大学も大手予備校もありませんでした。「本土の人たちは大手予備校に通って、ハイレベルな受験勉強をしているのではないか・・・」いくら勉強しても不安は消えなかった。そんな僕が、“オンライン予備校”をきっかけに受験勉強にのめり込んでいった・・・そんな体験談をお伝えします。

■『赤点だらけの僕が、現役で慶應義塾大学に合格できた理由』

（神奈川県出身／Yさん／慶應義塾大学 経済学部 合格）

－バスケ漬けの生活をしていた僕は、高3のはじめの偏差値は40以下。慶應を志望するというと、みんなから「アホか」と笑われました。絶対見返してやると心に誓った。そんな僕が予備校にも通わずに、“オンライン予備校”でどのように勉強したのか？そして大の苦手だった日本史の偏差値が37から67に上がった理由とは・・・？現役受験生にエールを送ります。

■『残り6ヶ月。偏差値30台からの軌跡の化学マスター術』

（千葉県出身／Iさん／立教大学 理学部 合格）

－憧れの志望大学が決まったものの、重要科目である化学がネック。通学に時間がかかっていたので、予備校は英語だけしか通えず途方に暮れていました。偏差値も30台と壊滅状態・・・。追い込まれた大ピンチから、気づいたら志望校の過去問がスラスラ解けるようになるまでの、私の“オンライン予備校”活用法をお伝えします。

8/1（金）の1回目は、Yさんの体験記『赤点だらけの僕が、現役で慶應義塾大学に合格できた理由』を公開いたします。今後は『受験サプリ』を活用して志望校に合格した受験生11人の体験記を随時アップロードしてまいります。

・『受験サプリ 合格体験記』はこちら

パソコン：<https://jyukensapuri.jp/rnet/LP/pc/contents/taikenki/index.html>

スマートフォン：<https://jyukensapuri.jp/rnet/LP/sp/contents/taikenki/index.html>

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/